

# gender beyond memory

The Works of Contemporary Women Artists



© Shimada, Yoshiko



© Carrie Mae Weems

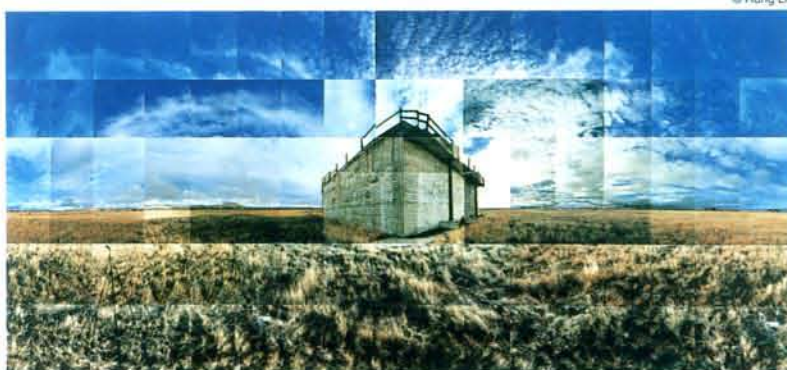


© Hannah Wilke

Tokyo  
Metropolitan  
Museum of  
Photography



© Hung Liu



© Masumi Hayashi

## ジェンダー 記憶の淵から

'96年9月5日[木]—10月27日[日] 2階企画展示室

休館日=毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日) 開館時間=10:00—18:00(木・金曜日は20:00まで/入館は閉館の30分前まで)  
観覧料=一般・大学生600(480)円/小・中・高校生300(240)円 常設展との共通観覧料=一般・大学生1,000(800)円/小・中・高校生500(400)円  
いずれも( )内は20名以上の団体料金 ※小学生未満、65歳以上の方、および障害のある方とその介護者1名は無料になります(証明できるものを所持ください)。

主催=東京都写真美術館/朝日新聞社  
後援=プリティッシュ・カウンシル/アメリカ大使館/国際交流基金  
協賛=NIH/EIDO/Nikon  
協力=東武鉄道/日本航空/慶応義塾大学アート・センター/  
イメージ&ジェンダー研究会

東京都写真美術館



© Trinh T. Minh-ha



© Mitsuo Tabrizian

John COPLANS  
ジョン・コプランズ

Laurie Toby EDISON  
ローリー・トビー・エディソン

Masumi HAYASHI  
マズミ・ハヤシ

Hung LIU  
ハング

Mari MAHR  
マリ・マール

TRINH T. Minh-ha  
トリン・T・ミンハ

Lorna SIMPSON  
ローナ・シンプソン

SHIMADA Yoshiko  
高田美子

Mitra TABRIZIAN  
ミトラ・タブリジアン

Carrie Mae WEEMS  
キャリー・メイ・ウィームス

Hannah WILKE  
ハンナ・ウィルケ



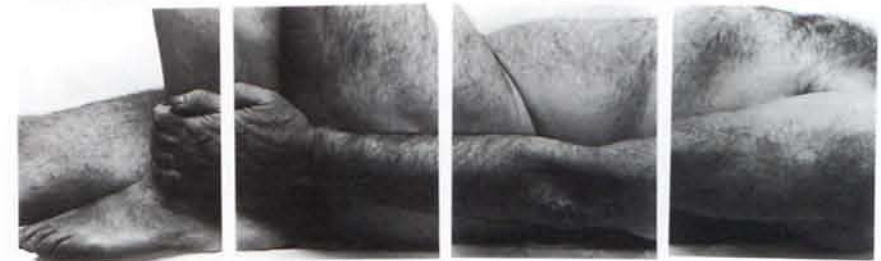
© Laurie Toby Edison



© Mari Mahr

# gender beyond memory

The Works of Contemporary Women Artists



© John Coplans

私たちの性意識は現在、激しく揺らいでいます。ジェンダー(社会文化的性差)は社会的・文化的・経済的価値観によって形成されますが、既存の価値観が様々な局面で変容している現在、ジェンダーやセクシュアリティの問題が、現代アートにおいて、特に近年活躍の著しい女性作家にとって重要なテーマになっていることは、むしろ当然のことかもしれません。

1970年代から特に顕著となる女性アーティストの活躍は、作品に表現される女性のイメージやその描かれ方に、言葉をかえれば、自分にとって自然と思われてきた女性性や女役割に不自然さを感じたところから始まりました。彼女たちは女とは何かという命題に取り組み始めたのです。それは相対的なものであるがゆえに、男

とは何かという問いをもまた突きつけます。セクシュアリティやジェンダーを扱った作品を考えると、しばしば「記憶」というキーワードが浮上ってきます。それはこの問題が人間の内面の深層にまで根本的な影響を及ぼすものだからでしょう。私たちの存在は、過去への「思い」と未来への「思い」の上に成り立っています。一人一人の存在はまた、個人的な「記憶」ばかりでなく、歴史的・社会的な「記憶」によっても規定されています。「記憶」の中に自己の存在を問なおし、「記憶」をキーワードに変容するジェンダーやセクシュアリティを考え、未だみぬ未来への予感を探りながら、(現代)の一面を浮き彫りにしたいと思います。

### ■講演会のお知らせ

9月6日[金] 18:00~ 「女性・ネイティブ・他者」  
講師:トリン・T・ミンハ(アーティスト)/多木浩二(美術評論家)/大越優子(近畿大学助教授)  
9月7日[土] 15:00~ 「戦争とジェンダー」  
司会:熊倉敬聡(慶応義塾大学助教授) 講師:マズミ・ハヤシ(アーティスト)/高田美子(アーティスト)  
会場=写真美術館1階ホール(入場無料、先着200名)  
※また毎月第2、4金曜日は午後2時より当館学芸員によるフロア・レクチャーが行われます。

■トリン・T・ミンハ映画作品上映スケジュール[当美術館1階ホールにて/料金は観覧料に含まれます]  
A-1:「ルアッサンブラージュ」(16mm/カラー/40分/1982年制作) A-2:「愛のお話」(35mm/カラー/108分/1995年制作)  
B-1:「姓はヴェト、名はナム」(16mm/カラー+白黒/108分/1989年制作) B-2:「核心を撃て」(16mm/カラー/101分/1991年制作)

	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
14:00~																						
15:00~	A-1	A-1		A-1	A-1		A-1	A-1		A-1	A-1		B-1	B-1		B-1	B-1		B-1	B-1		B-1
16:00~	A-2	A-2		A-2	A-2		A-2	A-2		A-2	A-2		B-1	B-2	B-2	B-1	B-2	B-2	B-1	B-2	B-2	B-2
17:00~			A-1			A-1			A-1													
18:00~			A-2			A-2			A-2													

■次回企画展のご案内 「ユージン・スミスの見た日本」 1996年11月3日[日]—12月23日[日]



交通機関=JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)。お車のご来館はご遠慮ください。

東京都写真美術館  
Tokyo Metropolitan Museum of Photography  
〒153 東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0031